



全日本にキリストの光を
Christ's Light to All of Japan

理事会からのご報告

諸教会・伝道所の皆さま

主の御名を賛美いたします。

コロナウイルス感染症への対応が続く中、諸教会・伝道所の皆さまにおかれましては主の御心を求めつつ牧会、教会形成のお働きに日々取り組まれていることと思います。

さて、このような状況を踏まえ、4月7日に Web 会議にて臨時常任理事会を行い 2020 年度の連盟の諸計画と理事会の持ち方について検討し、その後、理事会稟議にて下記のように対応することといたしましたので、ご報告いたします。

また、常任理事会では定期総会につきましても持ち方の検討が必要ということを確認しておりますこと、併せてご報告いたします。

諸教会・伝道所の皆さまにおかれましては、ご健康が守られ、お働きが祝されますよう心よりお祈りいたします。

2020年4月22日

日本バプテスト連盟
理事長 加藤誠

—記—

1. 2020年度活動計画の実施について

2019年度定期総会において総会承認された「2020年度活動計画」を計画通り実行していくことは困難であると判断し、計画内容を大幅に縮小することといたしました。

集まることを前提とする集会や研修会等は基本的に断念し、会議等はどうしても現地等への移動が必要なもの（監査など）を除いて、極力 Web 等を利用するなどして感染リスクを減らすことといたしました。理由といたしましては、集会、会議には諸教会・伝道所が安心して参加者を送り出せる環境の整えが必要です。しかし、現在はそのような状況ではないと判断しました。現在の感染拡大状況を考えると、沈静化には最低一年はかかると見込まれます。この状況の中で、安心して参加を呼び掛けることは困難であり、また、集会や研修会の開催には準備のための会議などを含め、最低半年から一年の準備期間が必要ですが、それもこれまでと同様にはできない状況にあるからです。

2. 宣教会議の開催延期

2020年6月に予定されていた宣教会議を少なくとも1年延期することとしました。理由は、コロナウイルスの影響下での開催が困難であることです。また、この未曾有の事態の中、教会がどんなことを考え、また何を選び取ったか、その歴史的経験を踏まえた「ことば」を持って、これからの連盟について共に考えることが、これからの連盟改革にとって不可欠のことと考えました。そのためには、少なくとも1年の開催延期が必要と判断いたしました。

3. Web 会議による理事会の開催

今年度の理事会の持ち方について、現在の状況を踏まえ、理事会を Web 会議によって行うことといたしました。これを踏まえ、理事会日程、開催回数の変更などの検討をしております。

以上